

＜開館 20 周年記念 入館無料ウィーク＞ & 夏～秋のイベント

川村記念美術館(運営:DIC株式会社)は、今年5月に開館20周年を迎えることができました。これまで支援して下さった地元の皆様、また遠方からいらして下さる美術ファンへの感謝をこめて8月10日(火)から15日(日)を＜開館 20 周年記念 入館無料ウィーク＞とさせていただきます。また、この期間を含めた約2週間、付属ギャラリーで印旛地区の高校生による作品を展示します。この機会に一人でも多くの方に川村記念美術館で楽しい時間をお過ごしいただきたく、広報活動にご協力くださいますようお願い申し上げます。

展示内容	レンブラント、モネ、シャガール、ピカソ、ロスコ、ニューマン、ステラ、日本画などの 当館コレクション作品約 90 点
無料期間	2010 年 8 月 10 日(火) – 8 月 15 日(日)
開館時間	午前 9 時 30 分 – 午後 5 時(入館は 4 時 30 分まで)
会 場	川村記念美術館(千葉県佐倉市坂戸 631 番地)
電 話	0120-498-130(代)
U R L	http://kawamura-museum.dic.co.jp



.....＜取材および追加資料請求はこちらまで＞.....

川村記念美術館 tel. 043-498-2672 / fax 043-498-2139
広報担当 海谷紀衣 norie-kaiya@ma.dic.co.jp
林里絵子 rieko-hayashi@ma.dic.co.jp

夏のイベント

8月14日(土) 17:00-21:30

弥富納涼盆踊り大会 (於・敷地内グラウンド／雨天の場合は15日に順延)

主催:弥富納涼盆踊り大会実行委員会 ※美術館主催のイベントではありません。

美術館敷地内に盆踊りの櫓(やぐら)が生まれ、21:00頃からは打ち上げ花火も予定されています。地域に根付いた毎年恒例のお祭りで、美術館敷地内で開催されるのは今年で19回目となります。なお、盆踊り当日は夕暮れの庭園の眺めをお楽しみいただけるよう、附属レストラン「ベルヴェデーレ」では、平常より営業時間を延長(平常ラストオーダー17:00→18:00)します。



8月10日(火) - 8月22日(日) 9:30-17:00 ※8/16(月)休廊、最終日は16:30まで

第一回印旛地区高等学校美術工芸作品展 (於・附属ギャラリー／入場無料)

主催:千葉県高等学校教育研究会美術工芸部会印旛地区展実行委員会、川村記念美術館(DIC株式会社)

後援:佐倉市教育委員会

地元、印旛地区の高校生による作品を敷地内の附属ギャラリーで展示します。

【第一部:8/10-8/15】

私立愛国学園附属四街道高等学校

千葉県立佐倉西高等学校

私立千葉黎明高等学校

私立東京学館高等学校

千葉県立富里高等学校

千葉県立成田国際高等学校

千葉県立四街道北高等学校

【第二部:8/17-8/22】

千葉県立印旛明誠高等学校

千葉県立佐倉高等学校

千葉県立佐倉東高等学校

千葉県立佐倉南高等学校

千葉県立四街道高等学校

千葉県立八街高等学校

秋のイベント

9月11日(土) 18:00 開演

開館20周年記念 山形由美フルート・コンサート

(於・美術館展示室 ピアノ：山内知子)

主催：川村記念美術館友の会、川村記念美術館(DIC株式会社)
2011年に演奏活動25周年を迎えるフルート奏者、山形由美の
ミュージアムコンサート。お問い合わせおよびチケットのご予約は
Tel. 043-498-2672 川村記念美術館友の会まで。

	チケット料金	電話予約開始
川村記念美術館友の会会員	5500円	8月10日
一般の方	6500円	8月17日



9月4日(土) -12月12日 9:30-17:00 ※月曜休館。ただし祝日の場合は開館し、翌日休館。

開館20周年記念 アメリカ抽象絵画の巨匠「バーネット・ニューマン」展

主催：川村記念美術館

後援：千葉県、千葉県教育委員会、佐倉市、佐倉市教育委員会

助成：ポーラ美術振興財団

料金：一般 1500円、学生・65歳以上 1300円、小中高生 500円

早期来館割引：9月17日までにチラシまたはホームページに掲載のクーポンをご持参いただくと入館料が一律1000円になります。

本展は、20世紀のアメリカ美術において頂点を極めた「抽象表現主義」の作家、バーネット・ニューマンの画業を振り返る日本初の個展です。川村記念美術館が所蔵する晩年の大作《アンナの光》を中心に、国内外の作品約30点を展示します。ニューマンは寡作であったため、世界中の美術館が所蔵作品を大切に保管していますが、本展にはアクリル画、油彩画、クレヨン画、版画、彫刻とバリエーションが揃い、同時に初期から晩年までの変遷を辿れる内容となっています。あわせて1960年代にアメリカのテレビで放映されたニューマンの貴重なインタビュー映像などもご紹介します。

